



より良い表現を求めて

12月、保護者の皆様お待たかねの年中・年長さんによる発表会を予定しています。昨年度「園長室だより」でお知らせしましたように、これまでの読み聞かせの中から子どもたちが気に入ったお話を、担任が、劇として脚色し、劇として構成しています。

幼稚園教育要領では、「幼児期における絵本や物語紙芝居などの読み聞かせをすることは、想像上の世界に思いを巡らせ、不思議さや驚き、感動、さらには悲しみや悔しさなどの気持ちに触れ、他人の痛みや思いを知る上で大切である」と述べています。子どもたちは、恥ずかしがったり、緊張したりして言葉や動作がはっきりとしない場合がありますが、子どもの表現力を高めるには、大人が、表現として受け止め共感することが大切です。子どもたちは、丸めた新聞紙、一本の棒、一枚の布を持っただけでイメージを広げ、いろいろなものになりきって遊ぶことができます。

子どもたちは、自分の気持ちをそのまま声や表情、身体の動きとして表した遊びの段階から、なりたい役を決めて演じる段階で、友達の表現に触れて心を動かしたり、遊具や用具に関わったりして一層感動を表現できるようになります。

本園では、子どもたちの言葉や動作などの表現力を高めるために、言語を中心とした発表会を大切にしています。本園のねらいは、次の通りです。

【年中】

- 友だちと大好きな絵本の世界に入り込み、登場人物になってやり取りする楽しさを感じながら、喜んでお話を進めていく。
- 自分たちの劇ごっこをお客さんに観てもらおうことを楽しみにし、一人ひとりが喜んで取り組む。
- 発表会に楽しく取り組む中で、クラスの友だちと目標に向かう楽しさを知る。

【年長】

- 物語の内容や登場人物の気持ちがわかり、自信を持って自分の役を演じる。
- 一人ひとりが劇作りを楽しみながら、クラスみんなで一つの物語を作っていくことを意識し、できあがった達成感をみんなで味わう。

としています。練習の成果を是非ご覧いただきたいと思います。



力になった子どもの戦力

花の植え替えが「らいおん」組の定例活動となり26日(土)に作業をしました。これで、来年の春を迎える準備ができました。12日の平均台作りに続いた作業でしたが、10名ものお父様方が参加され、感謝しています。お父様方には、家庭サービスの時間を奪ってしまい大変申し訳なく思っています。



いつも数名の子どもたちが参加しますが、今回は、6人のレオたちが大活躍でした。進んで、土運びや土の掘り起し、最後に植木鉢の寄せ植えを行いました。すごい戦力で、大助かりでした。幼稚園児だから何もできないというのは大人の誤った考えで、やり方を教えると上手くやれるということを実証してくれました。月曜日には、お母さま方に自慢して見せる子どももいました。また、

ひまわり後の野草地を耕し、夏の間、保存していたチューリップの球根を植えましたので、春にどのくらい咲くか楽しみです。

お父様方からは、「スマレがいい」「大根がいい」「大豆がいい」など、ユニークな意見が出ていますが、この意見は、子どもたちのため？それとも、らいおん組のため？ みんなでいい知恵を出し合い、「環境は人を作る」幼稚園にしたいと思います。

仏教誕生の日、成道会

12月8日は、お釈迦様が35歳で悟りを開かれた日です。お釈迦様は、人間としての幸福について悩まれ、6年間、厳しい苦行を積まれましたが、悟りを得ることはできませんでした。そこで、川で沐浴をし、村の娘スジャータの捧げる乳粥で元気を取り戻され、菩提樹の下で、固い決意のもと、瞑想に入られました。甘美なものへの誘惑、華やかな生活などが心を乱しますが、強い信仰と知恵がすべての煩惱を打ち砕かれました。そして夜明けに、明るい暁の明星を仰いだとき、心が光り輝き、「悟り」を開かれ、仏陀になられたということです。

～学園「聖典」より抜粋～

園では、12月16日に成道会の法要を行います。